

経営比較分析表（平成30年度決算）

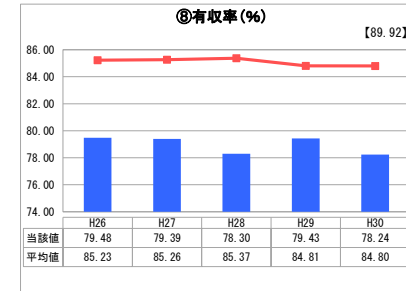
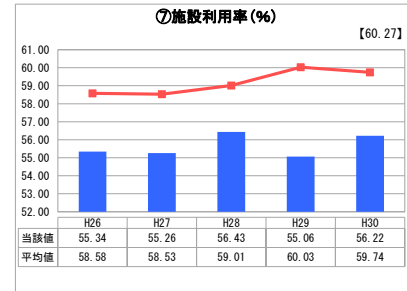
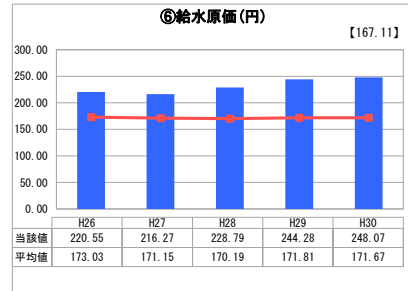
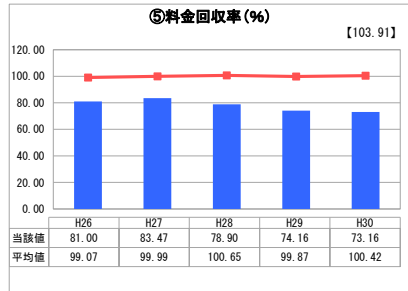
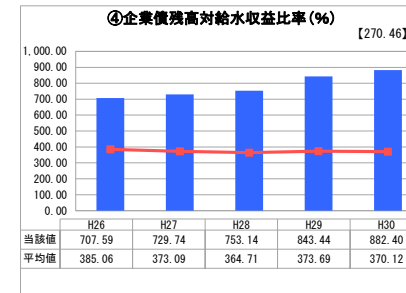
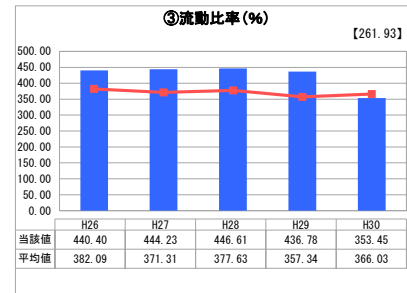
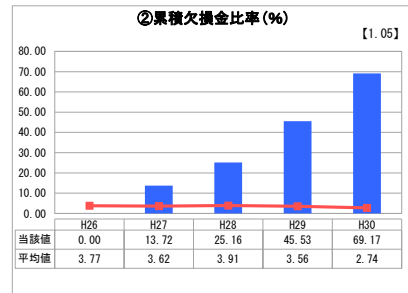
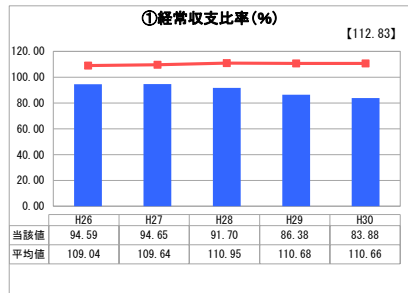
岩手県 久慈市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり客塵料金(円)	
-	50.95	95.01	2,980	

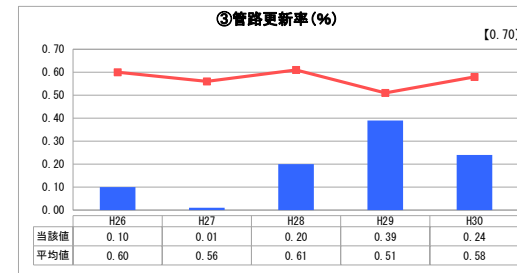
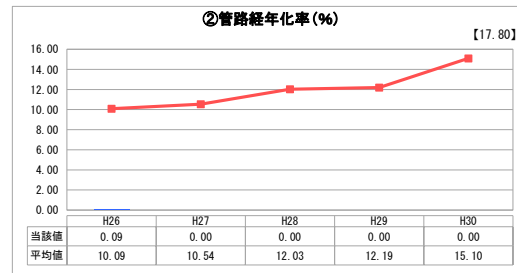
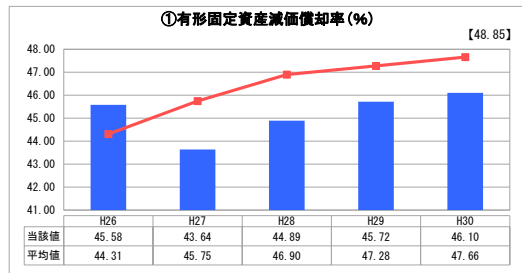
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,199	623.50	56.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
33,115	104.72	316.22

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- 施設更新事業の供用開始に伴う減価償却費の増加が主な要因で純損失となり、累積欠損金比率及び給水原価が増加している。
- 給水収益が横ばい傾向にあり、先の減価償却費等の増加もあって経常収支比率が減少している。料金回収率も低い状況であるが、令和元年度に料金改定を行い、改善を図ることとしている。
- 施設利用率、有収率とも平均値より低い。

2. 老朽化の状況について

- 管路経年化率は、集中的に整備した管路が今後一斉に耐用年数を経過するため、急激な上昇が見込まれる。管路だけでなく主要な設備は老朽化が進んでいるため、市の基本計画等により更新を進める。

全体総括

- 人口減少等により、現状のままでは収益増加は見込めない状況であるため、令和元年度より料金改定を行う。改定後も定期的に見直しを行い、財源確保に努める。
- 財源確保のほか、包括的業務委託、ダウンサイジング等による事業運営の効率化や経費削減を図る必要がある。